



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2019年11月6日

東

上場会社名 株式会社 デサント 上場取引所
 コード番号 8114 URL http://www.descente.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小関 秀一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 土橋 晃 (TEL) 06-6774-0365
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	65,926	△1.3	2,638	△8.2	2,906	△9.7	2,210	△3.5
2019年3月期第2四半期	66,768	1.2	2,873	△15.5	3,219	△8.1	2,291	△6.1

(注) 包括利益2020年3月期第2四半期 △134百万円(-%) 2019年3月期第2四半期 △528百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	29.31	—
2019年3月期第2四半期	30.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	112,718	76,398	67.8
2019年3月期	115,756	78,446	67.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 76,398百万円 2019年3月期 78,446百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	26.00	26.00
2020年3月期	—	0.00			
2020年3月期(予想)			—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	130,800	△8.2	1,100	△86.1	1,200	△85.8	700	△82.3	9.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料の10ページ、「(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	76,924,176株	2019年3月期	76,924,176株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,489,709株	2019年3月期	1,516,109株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	75,415,577株	2019年3月期2Q	75,388,058株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】4ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11
3. 補足情報	12
海外売上高	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の売上高は65,926百万円(前年同四半期比1.3%減)、営業利益は2,638百万円(前年同四半期比8.2%減)、経常利益は2,906百万円(前年同四半期比9.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,210百万円(前年同四半期比3.5%減)となりました。

報告セグメントの業績は次のとおりであります。

(セグメント別売上高)

セグメントの名称	売上高(百万円) (前年同四半期比)	セグメント利益又は損失(百万円) (前年同四半期比)
日 本	29,301 (101.2%)	795 (78.0%)
ア ジ ア	35,632 (96.7%)	2,321 (98.3%)
欧 米	993 (103.4%)	△470 (前年同四半期△526百万円)
調 整 額	—	△8 (前年同四半期17百万円)
合 計	65,926 (98.7%)	2,638 (91.8%)

(日本)

アスレチックカテゴリーにおいては「デサント」は好調、「ルロックスポルティフ」は堅調に推移しましたが、「アンブロ」は苦戦しました。ゴルフカテゴリーにおいては「デサント」が好調に推移しましたが、「マンシングウェア」は苦戦しました。結果、日本全体として増収となりましたが、売価率の低下と直営店の増加等による販管費の増加が影響し、利益は前年を大幅に下回りました。

(アジア)

韓国においては「アンブロ」が好調、「デサント」は堅調に推移しましたが「マンシングウェア」は苦戦しました。香港、シンガポールにおいては「ルロックスポルティフ」が好調に推移しました。アジア全体として減収による売上総利益の減少により、利益は前年を下回りました。

(欧米)

「デサント」「イノヴェイト」の売上高が計画通りに推移した結果、欧米全体として増収による売上総利益が増加したことにより、営業損失は前年より若干縮小しました。

品目別売上高の状況は次のとおりであります。

(品目別売上高)

区 分	金 額	構 成 比	前年同四半期比
	百万円	%	%
アスレチックウェア及びその関連商品	45,065	68.4	97.3
ゴルフウェア及びその関連商品	17,155	26.0	98.8
アウトドアウェア及びその関連商品	3,705	5.6	119.2
合 計	65,926	100.0	98.7

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(アスレチックウェア及びその関連商品)

アスレチックカテゴリーにおいては、「デサント」が国内で、また「アンブロ」「ルコックスポルティフ」が海外で増収となったものの、国内では「アンブロ」が、海外では「デサント」が減収となり、結果、全体として売上高は前年同四半期より減少しました。

「デサント」においては、日本の直営店「DESCENTE BLANC」が9月に新たにオープンした二子玉川店も含め、引き続き好調を維持しています。9月には同ブランドの代表アイテム「水沢ダウン」を販売開始しました。新規デザインの販売と共に、生産を行う当社グループ子会社であるデサントアパレル株式会社 水沢工場(岩手県奥州市)の供給体制強化により、順調な滑り出しとなっています。

「ルコックスポルティフ」では同ブランドをアジア以外で展開するルコックスポルティフ・インターナショナル社と共同でフランスラグビー連盟とオフィシャルサプライヤー契約を締結しました。また、当社がオフィシャルスポンサーを務める「ツール・ド・フランス」の開催に関連して同大会通算5勝の英雄、ベルナルド・イノー氏を日本・中国に招待しイベントを実施するなど、契約チームやイベントに絡めた施策の実施によりブランドイメージの向上を図りました。

「アリーナ」においては7月に開催された「第18回世界水泳選手権大会」(韓国・光州)にて瀬戸大也選手(所属:ANA/JSS毛呂山)が、当社が当大会に向けて開発した「アルティメットアクアフォース」を着用して200m・400m個人メドレーで金メダルを獲得する等、契約選手が活躍しブランドアピールに貢献しました。

「アンブロ」においては高い断熱効果を発揮する塗料「GAINA(ガイナ)」を国内で初めてシューズに搭載したサッカースパイクを開発しました。また韓国においては1月に新発売したダッドスニーカー「BUCKY」の販売が好調に推移するなどシューズ事業の拡大を進めています。

(ゴルフウェア及びその関連商品)

ゴルフカテゴリーにおいては、国内外で「デサント」が引き続き好調で増収となったものの、国内外で「マンシングウェア」、海外で「ルコックスポルティフ」が苦戦し、結果、全体として売上高は前年同四半期より減少しました。

ゴルフブランド全体のトピックスとして、9月に開催されたLPGAツアー「第50回デサントレディース東海クラシック」を東海テレビ放送株式会社と共同で主催しました。第50回となる今大会は、これまでの「マンシングウェアレディース東海クラシック」からトーナメント名を刷新し、当社が展開する6つのゴルフブランドにて大会を盛り上げました。入場者数は50年のトーナメント史上最多の約25,000人を記録するなど高い注目度を集めました。

「デサント」においては、9月に開催されたLPGAツアー「ミヤギテレビ杯ダンロップ女子オープンゴルフトーナメント」にて契約プロの柏原明日架プロがキャリア初の優勝を成し遂げ、ブランド価値向上に貢献しました。

「ルコックスポルティフ」においては、5月に中国で開催されたCLPGAツアー「ルコックスポルティフ北京レディースクラシック」に協賛し、ブランドロゴの露出等を通じてブランドアピールを行いました。

「マンシングウェア」においては4月に東京・銀座の旗艦店がオープン1周年を迎え、今後もゴルフウェアはもちろん、日常シーンで着用いただけるウェアを展開するとともに、ブランドの世界観を発信していきます。

その他のトピックスとして、当社の研究開発拠点“DISC OSAKA(ディスクオオサカ)”が快適で機能的なオフィスを表彰する第32回「日経ニューオフィス推進賞」を受賞しました。様々な人や情報が交じり合い、スピード感のあるモノ創りやクリエイティブな発想ができるように、柱や壁を減らした吹き抜けの執務スペースや見通しの良いガラス張りの試験室といった特徴を備えた施設で、フリーアドレス制による課を超えた社員の交流を促すなど、ハード面とソフト面という両面での新たなモノ・コトを創造する拠点であるということが評価され同賞の受賞に至りました。当社は、今後もスポーツアパレルの研究開発拠点“DISC OSAKA”と韓国・釜山にあるシューズの研究開発拠点“DISC BUSAN(ディスクブサン)”の2つの「DISC」で様々な商品開発を行い、更なる「モノを創る力」の向上に努めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産の状況に関する分析)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は112,718百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,037百万円減少致しました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ6,510百万円減少し、71,540百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少2,396百万円、受取手形及び売掛金の減少1,584百万円、流動資産その他に含まれる仮払税金の減少941百万円などによるものです。

固定資産は前連結会計年度末に比べ3,472百万円増加し、41,178百万円となりました。これは主に有形固定資産その他に含まれる使用権資産の増加4,678百万円などによるものです。

負債合計は前連結会計年度末に比べ989百万円減少し、36,320百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少3,709百万円、固定負債その他に含まれるリース債務の増加2,985百万円などによるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ2,048百万円減少し、76,398百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加250百万円、為替換算調整勘定の減少2,451百万円などによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末と同様の67.8%となりました。

(キャッシュ・フローの状況に関する分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べ2,412百万円減少し、24,817百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、3,474百万円の収入超過（前第2四半期連結累計期間は2,324百万円の収入超過）となりました。これは主な減少要因として、仕入債務の減少額3,445百万円、法人税等の支払額1,168百万円などがありましたが、税金等調整前四半期純利益2,906百万円、減価償却費3,027百万円、売上債権の減少額1,257百万円などの増加要因があったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,234百万円の支出超過（前第2四半期連結累計期間は4,766百万円の支出超過）となりました。これは有形固定資産の取得による支出898百万円などによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、3,658百万円の支出超過（前第2四半期連結累計期間は2,109百万円の支出超過）となりました。これは主に配当金の支払額1,960百万円、リース債務の返済による支出1,257百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、2020年3月期から2022年3月期までの3ヵ年を対象とした新中期経営計画「D-Summit 2021」を策定しました。「モノづくりの強化」「アジアへの集中」「日本事業の収益改善」を重点戦略に掲げ、社会に「スポーツを遊ぶ楽しさ」という独自の価値を提供し続け、更なる企業価値の向上を図ります。

通期連結業績予想につきましては、売上高において、主にデサント코리아株式会社の下期（7月～12月）以降の売上低迷による業績不振が大きく影響していることや、これから始まる重要な冬物商戦の苦戦が見込まれることなどから、2019年5月13日に公表いたしました業績予想を大幅に下回る見込みとなりました。広告販促費の削減等販管費について見直しを行いました。売上高の大幅減少に伴う売上総利益の減少をカバーできず、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益についても前回発表予想を下記のとおり下方修正いたしました。

なお、配当予想につきましては、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保するとともに、株主の皆様に対しては安定配当を目指しつつ、業績と配当性向を勘案した結果、前回予想の1株当たり22円から19円減額の3円に修正いたしました。

詳細につきましては、本日（2019年11月6日）公表いたしました「2020年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異及び通期業績予想と配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2020年3月期通期連結業績予想の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	144,000	8,000	8,200	5,300	70.29
今回修正予想(B)	130,800	1,100	1,200	700	9.28
増減額(B-A)	△13,200	△6,900	△7,000	△4,600	
増減率(%)	△9.2	△86.3	△85.4	△86.8	
前期実績(2019年3月期)	142,443	7,935	8,458	3,944	52.31

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,136	25,740
受取手形及び売掛金	21,190	19,605
商品及び製品	23,860	23,143
仕掛品	161	197
原材料及び貯蔵品	799	838
その他	4,762	2,852
貸倒引当金	△859	△837
流動資産合計	78,051	71,540
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,356	11,741
その他	12,554	16,644
有形固定資産合計	24,910	28,385
無形固定資産		
	2,701	2,644
投資その他の資産		
その他	10,182	10,238
貸倒引当金	△89	△90
投資その他の資産合計	10,093	10,147
固定資産合計	37,705	41,178
資産合計	115,756	112,718
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,448	14,739
短期借入金	405	271
1年内返済予定の長期借入金	254	564
未払法人税等	1,183	750
賞与引当金	898	845
返品調整引当金	883	1,050
債務保証損失引当金	121	121
その他	7,333	7,851
流動負債合計	29,527	26,193
固定負債		
長期借入金	4,133	3,368
退職給付に係る負債	952	1,085
その他	2,697	5,673
固定負債合計	7,783	10,127
負債合計	37,310	36,320

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,846	3,846
資本剰余金	25,281	25,316
利益剰余金	47,632	47,882
自己株式	△643	△632
株主資本合計	76,115	76,412
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	739	804
繰延ヘッジ損益	△4	16
為替換算調整勘定	1,607	△844
退職給付に係る調整累計額	△11	8
その他の包括利益累計額合計	2,330	△14
純資産合計	78,446	76,398
負債純資産合計	115,756	112,718

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	66,768	65,926
売上原価	29,342	28,497
売上総利益	37,426	37,429
返品調整引当金繰入額	93	167
差引売上総利益	37,332	37,262
販売費及び一般管理費	34,459	34,623
営業利益	2,873	2,638
営業外収益		
受取利息	152	186
受取配当金	72	63
持分法による投資利益	85	203
為替差益	111	—
その他	97	103
営業外収益合計	518	556
営業外費用		
支払利息	64	150
固定資産除却損	82	45
為替差損	—	91
その他	24	2
営業外費用合計	171	288
経常利益	3,219	2,906
税金等調整前四半期純利益	3,219	2,906
法人税、住民税及び事業税	998	789
法人税等調整額	△70	△93
法人税等合計	928	695
四半期純利益	2,291	2,210
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,291	2,210

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	2,291	2,210
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10	65
繰延ヘッジ損益	△35	21
為替換算調整勘定	△2,732	△2,328
退職給付に係る調整額	58	19
持分法適用会社に対する持分相当額	△99	△122
その他の包括利益合計	△2,820	△2,344
四半期包括利益	△528	△134
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△528	△134

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,219	2,906
減価償却費	1,709	3,027
のれん償却額	59	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△26	△17
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△93	△53
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	93	167
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	170	167
受取利息及び受取配当金	△224	△249
支払利息	64	150
売上債権の増減額 (△は増加)	1,173	1,257
たな卸資産の増減額 (△は増加)	332	△110
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,307	△3,445
その他	△635	744
小計	3,535	4,543
利息及び配当金の受取額	224	249
利息の支払額	△64	△150
法人税等の支払額	△1,370	△1,168
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,324	3,474
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	352	716
定期預金の預入による支出	△996	△773
有形固定資産の取得による支出	△3,174	△898
無形固定資産の取得による支出	△416	△290
投資有価証券の取得による支出	△99	△5
関係会社株式の取得による支出	△178	—
その他	△254	18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,766	△1,234
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△293	△134
長期借入れによる収入	10	—
長期借入金の返済による支出	△127	△352
配当金の支払額	△1,733	△1,960
自己株式の取得による支出	△0	△0
リース債務の返済による支出	△38	△1,257
その他	72	46
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,109	△3,658
現金及び現金同等物に係る換算差額	△898	△994
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,449	△2,412
現金及び現金同等物の期首残高	27,369	27,229
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,920	24,817

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

一部の連結子会社について、税金費用は、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、当該連結子会社の法人税等は、法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している子会社は、当第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の有形固定資産の「その他」が4,756百万円増加、流動負債の「その他」が1,615百万円及び固定負債の「その他」が2,991百万円増加しております。当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。四半期連結キャッシュ・フロー計算書は、営業活動によるキャッシュ・フローの支出が1,202百万円減少し、財務活動によるキャッシュ・フローの支出が1,202百万円増加しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	欧米	計		
売上高						
外部顧客への売上高	28,947	36,860	960	66,768	—	66,768
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,934	227	59	3,221	△3,221	—
計	31,881	37,088	1,020	69,990	△3,221	66,768
セグメント利益又は損失	1,020	2,362	△526	2,855	17	2,873

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額17百万円には、セグメント間取引消去17百万円、棚卸資産の調整額△0百万円を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	欧米	計		
売上高						
外部顧客への売上高	29,301	35,632	993	65,926	—	65,926
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,120	253	90	3,463	△3,463	—
計	32,421	35,885	1,083	69,390	△3,463	65,926
セグメント利益又は損失	795	2,321	△470	2,647	△8	2,638

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△8百万円には、セグメント間取引消去24百万円、棚卸資産の調整額△33百万円を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

海外売上高

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円、%)

	アジア	北米	欧州その他の地域	計
I 海外売上高	37,707	303	1,357	39,368
II 連結売上高				66,768
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	56.5	0.5	2.0	59.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円、%)

	アジア	北米	欧州その他の地域	計
I 海外売上高	36,597	415	1,403	38,416
II 連結売上高				65,926
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	55.5	0.6	2.1	58.3

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。